



無言掃除 実施中!

西南中校区内の小学校（西南小・西東小）では学校での掃除は【無言掃除】で実施しています。なぜ、無言掃除なのでしょう？ いろいろな目的が考えられますが、大きな目的は2つあると考えて実践しています。

1つめは、「掃除に集中すること」です。2つめは、「アイ（目）コンタクトだけでも、相手の気持ちを読み取る体験をすること」です。また、掃除自体には多くの効果があります。小学生には少し難しいかもしれませんが、この経験が子どもたちの人生に大きく+（プラス）になると思います。まだまだ、無言掃除が定着していないところもありますが、これからも西南小でもしっかりと無言掃除ができるように、取り組んでいきたいと思えます。

下の写真は、無言掃除をがんばっている子どもたちの様子です。



掃除の効果とは何でしょうか？

今回、無言掃除について記載しましたが、私が12年前に出会った『トイレ掃除の5つの効果』についてお話をしたいと思います。ここではトイレ掃除となっていますが、この5つの効果は、掃除について共通することであると思っています。ご存じの方も多いと思いますが、イエローハット創業者の鍵山秀三郎氏の有名な言葉です。

1. 心が磨かれる
2. 謙虚になれる
3. 気づく人になる
4. 感動しやすい人間になる
5. 感謝の気持ちが生まれる

(※右上に続きます。)

『心が磨かれる』

実際には心を取り出して磨くわけではありませんが、身のまわりをきれいにしておく、特にトイレをきれいにすると、心も美しくなるということです。人は、日頃からいつも見ているものに心も似てくるということです。

『謙虚になれる』

人が幸せになるための1つは謙虚になることであるという言葉を目にしたことがあります。謙虚であると感謝の気持ちも生まれやすくなります。謙虚になるための確実に一番の近道が、掃除、特にトイレ掃除ということです。

『気づく人になる』

気づく人になると、まわりの人のために配慮したり、貢献したりできる基盤ができます。また、世の中で成果をあげる人はいい意味で無駄があまりありません。無駄をできるだけ少なくするためには、気づく人になることが大切ということです。その「気づき」をもっとも引き出してくれるのが掃除ということです。

『感動しやすい人間になる』

感動があれば、人生が豊かになります。できれば人を感動させるような生き方をしたいと多くの人が思っています。そのために、まずは自分自身が感動しやすい人間になることが重要だと思います。人が人に感動するのは、一生懸命取り組んでいる姿に感動することが多いです。特に、掃除が一番の実践の場だと思います。

『感謝の気持ちが生まれる』

人は幸せだから感謝するわけではなく、感謝するから幸せになれると思います。掃除をしていると、小さなことにも気づき、感謝できる感受性豊かな人間になれます。

以上のように掃除には生きていくことにおいて大きな効果があります。本校でも実施のMyプロジェクト（・自分で起きる ・朝食を食べる ・自ら学習する）の実践と共に、子どもたちに掃除の大切さを指導していきたいと思えます。